

エチオピアにおける緑化意識の高い 先進的モデル町づくりプラン ～グリーン・ラリベラプロジェクト

〒976-0022
福島県相馬市尾浜字南ノ入241-3
電話:0244-38-7820
E-mail:info@futaro.org
http://futaro.org/



ひろげる助成

2年目

実践



ラリベラ市内の苗畑では10種の苗木を育てた。

苗木生産	20万本
環境教育ノート制作	2,000冊
今年度計画の達成度	75%
活動の全体目標に対する達成度	65%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

国内の政治的な問題から集会在禁止され、植樹祭や環境劇コンテストのような大々的なキャンペーンができなかった。

■ 工夫した点

京都造形芸術大学とのコラボで、街路樹のデザイン提案ができ、ザンバパー色の街路樹に変化が生まれそうだ。

課題

住民らが現在植えられている樹をうまく利用しながら維持していく仕組がない。また21世紀の世界遺産の町にふさわしい趣きのある街路樹風景がない。

目標

森林造成を通じて植生の絶対量を増やす。緑化に関するキャンペーン事業を行い、先進的モデル地域の成功例を周辺に拡大していく。

活動内容と成果

ラリベラ市内とカンカニ地区で10種、計205,000本の苗木を生産し、市民、学校、ホテルなどとともに植樹した。街路樹は日本のラリベラ学会がコンペを行い、6デザインを提案。小学生が選んだ樹種を学校前に植樹。ほか、住民と

ともに4種、145本の街路樹を植えた。植林後はフェンスを作り、225名の住民が水やりを担当。本年は植林後の生存率調査を行い、カンカニが68%、ラリベラが74%、計106,620本が活着。また環境教育ノートを新しくデザインし、2,000部作成、環境クラブの子どもらに配布する準備ができた。



新しいデザインになった環境教育ノート

今後の展望

エチオピアでは政治的混乱で集会在が甚だしく規制され、環境劇コンテスト、植樹祭、スタディツアーを大々的に行えなかった。昨年同様キャンペーンができない可能性があるが、情報収集を行い、安全に活動したい。